

殺虫剤

アルバリン顆粒水溶剤

ジノテフラン水溶剤

平成25年7月24日付けで以下の通り適用拡大されました。

<変更内容>

- 作物名に「畑わさび」を追加する。
- 「しそ科葉菜類(バジルを除く)」を「しそ科葉菜類(しそ、バジルを除く)」と「しそ」に分割し、「しそ」のジノテフランを含む農薬総使用回数を「3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)」に変更する。
- 「アスパラガス」の適用病害虫名に「カメムシ類」を追加する。
- 「てんさい」の適用病害虫名「テンサイモグリハナバエ」の使用方法を「散布」を希釈倍数「2000～3000倍」で追加する。

太字が追加部分、下線が変更部分です。

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
畑わさび	—	アブラムシ類	2000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
<u>しそ科葉菜類</u> (しそ、バジルを除く)		アブラムシ類	3000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	2回以内		2回以内
<u>しそ</u>								<u>3回以内</u> (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
アスパラガス		カメムシ類	2000倍	100～800L/10a	収穫前日まで	3回以内		3回以内
てんさい		テンサイモグリハナバエ	2000～3000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	2回以内		3回以内 (灌注は1回以内、散布は2回以内)

使用上の注意事項などについては、製品に貼付されているラベルを参照のこと。

<使用上の注意事項の追加>

- 本剤を使用したわさびの苗を畑地からわさび田に移植する場合には、使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう、わさびの苗に付着した土を十分に洗い落とすこと。